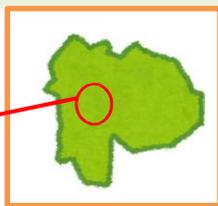


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(28年度:計画作成主体:南アルプス市地域農業再生協議会)(山梨県)

取組の概要

対象品目 : 果樹(ブドウ)(産地面積10.59ha)
 主な取組主体 : JA南アルプス市、農業者970名
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 基準(H27年度) 164百万円
 目標(H30年度) 184.5百万円
 導入施設等 : 整備事業(集出荷貯蔵施設(保冷施設))
 生産支援事業(機械リース(携帯用透過式非破壊糖度計測器3式))

山梨県
南アルプス市



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

消費者から人気が高い「シャインマスカット」は、実需者や市場からの引き合いが強いものの、収穫期が短く、品質にバラつきが生じている。

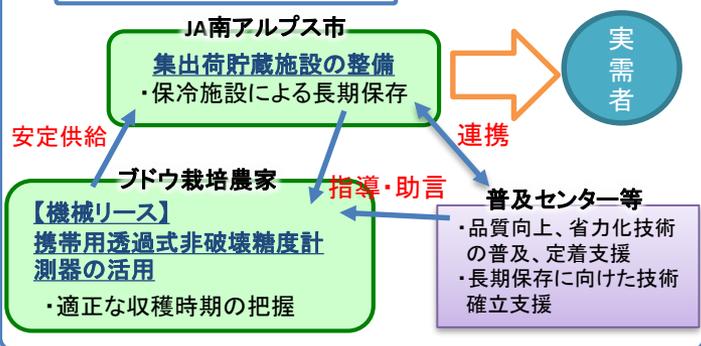
一方、意欲的な担い手が「シャインマスカット」へ改植し収量が増加傾向にあることから、これらの農家が「シャインマスカット」の栽培に取り組むとともに、長期間の出荷実現や選果基準の統一により、品質安定化を図ること等を通じて販売額の増加を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

- ①長期出荷を可能とし有利販売を実現するために必要な保冷施設の導入
- ②選果基準を客観的に判断する透過式非破壊糖度計のリース導入

産地体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉
 ・ブドウ「シャインマスカット」は、特に品質が優れたものを「特秀品」として区分け、高級果専門店などでの有利販売を行っている。
 ・市単独事業として、整備費を支援

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①保冷施設による長期保存
- ②非破壊糖度計測器による出荷果実品質の向上

【事業実施による間接効果】

- ①出荷時期をずらした差別化販売が可能となり、販売額が増加
- ②市場評価の高まって引き合いがさらに強まり、販売額が増加

**販売額が114.6%
増加(目標:12%増加)
(達成率948.9%)**

